

その他ク

令和7年度第72回文化財防火デー防火訓練の開催について

文化財防火デー（毎年1月26日）に際し、文化財保護思想と防火意識の向上のため、消防機関及び文化財所在地周辺住民等の協力を得て、防火訓練を実施します。

文化財防火デーとは、昭和24年（1949）1月26日に法隆寺金堂で火災が生じ、それ以降も文化財の火災が相次ぎ、火災などの災害から文化財を守ろうという世論が高まったことを受け、昭和30年（1955）に消防庁と文化庁が定めたものです。毎年防火デーの前後には、全国各地で文化財防火運動が展開されています。

72回目となる今回は、令和4年に新たに市天然記念物に指定した「中黒瀬のセンダン」が所在する黒瀬中央公園で開催し、文化財の解説と消防・住民による初期消火訓練を行う予定です。

- ・開催場所 黒瀬中央公園（東広島市黒瀬町丸山1450-1）
- ・開催日時 令和8年1月25日（日） 9時00分～10時00分
- ・備 考 無料 事前の申し込み等は不要

■中黒瀬のセンダンについて

概要 中黒瀬のセンダンは、明治45年（1912）に旧中黒瀬小学校と民有地の境界に植栽された。現在周囲は公園として整備され、その一角に幅約5m、長さ約30mに生育している。酒造業が発達した東広島市では、平野部の樹林が薪炭材として伐採されたことから、森林群落は貧弱であった。その中にあって中黒瀬のセンダンの巨樹は植栽されたものであるが、この地域に適した種として、歴史的にみて極めて貴重な存在である。



↑東広島市天然記念物 中黒瀬のセンダン



↑令和6年度の防火訓練の様子



↑令和6年度の防火訓練の様子